

平成23年11月10日

JRR-3及びJRR-4をご利用の皆様へ

日頃から当部の研究炉JRR-3及びJRR-4をご利用頂き、また、格別のご高配を賜り、深く感謝しております。

さて、東日本大震災に伴うJRR-3の今年度中の再開に向けた復旧作業につきましては既に7月7日付で本ホームページ等に掲載した「JRR-3及びJRR-4をご利用の皆様へ」にてご案内しているところでありますが、11月10日現在のJRR-3及びJRR-4の復旧状況を以下にお知らせします。

1) JRR-3の状況

JRR-3につきましては、地盤沈下に伴う原子炉建家周辺設備の補修作業を進めるとともに、原子炉建屋内及び実験装置・中性子導管等の利用設備におきましても、工程を調整しつつ補修作業を進めております。引き続き、定期検査を受けて供用運転を再開すべく努力しております。また、施設で観測された地震波の大きさについて10月5日に文部科学省へ報告したところ、施設の詳細点検及び観測波を用いた耐震解析評価の実施並びにそれらの報告が求められ、現在対応しているところです。主な箇所については復旧を完了いたしました。但し、地盤沈下部の補修については契約手続きに時間を要しております。

2) JRR-4の状況

JRR-4につきましては、ローディングドックBの補修工事が国の認可対象となる見込みであり、その期間及び国の定期検査の受検期間を考慮して、復旧は来年度まで続く予定です。

当部としては早期運転再開に向けて全力で復旧に当たりますが、原子力に対する強い逆風が当方にも襲った場合等には、皆様のご支援を賜れるよう、今後も皆様とのお付き合いを大切にしたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

独立行政法人 日本原子力研究開発機構
東海研究開発センター 原子力科学研究所
研究炉加速器管理部長

丸尾 毅